

所属・氏名（ 健康科学部 医療経営学科 氏名：金谷 孝之 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (国際会議) 《筆頭論文》 A Method of Shape Deformation Using a Cage Considering Shape Features	共著	2020年7月	Human-Computer Interaction International 2020	著書全体の概要:形状の特徴を考慮したケー ジベースの変形の方法を提案した。 (当該論文のページ数:6頁) (<u>Takayuki Kanaya</u> , Naoyuki Awano, Yuta Muraki, Kenichi Kobori) 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部 分抽出不可能。(共著)
2 (国際会議) 《筆頭論文》 A Method of Automatic Cage Generation by Variational Remeshing Method	共著	2020年1月	The International Workshop on Advanced Image Technology 2020	著書全体の概要:変分再メッシュ法による形状変 形のための自動ケージ生成の方法を提案した。 (当該論文のページ数:4頁) (<u>Takayuki Kanaya</u> , Naoyuki Awano, Yuta Muraki, Kenichi Kobori) 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部 分抽出不可能。(共著)
3 (国際会議) Fast Seam Carving for Video Images	共著	2020年1月	The International Workshop on Advanced Image Technology 2020	著書全体の概要:ビデオ画像から視覚的に重要 な領域を検出し、それらを保持するサイズ変更方 法を提案した。 (当該論文のページ数:4頁) (Yuta Muraki, Kengo Kitamura, Koji Nishio, <u>Takayuki Kanaya</u> , Kenichi Kobori) 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部 分抽出不可能。(共著)
4 (国際会議) A Method of Defect Extraction for Point Clouds	共著	2018年1月	The International Workshop on Advanced Image Technology 2018	論文全体の概要:深度センサから取得された奥 行きのある画像の解像度と精度を高めるための 手法を提案した。 (当該論文のページ数:4頁) (当該論文の著者名: Koji Nishio, Yuta Muraki, <u>Takayuki Kanaya</u> , Kenichi Kobori) 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部 分抽出不可能。(共著)
5 (国際会議) Generation of High-resolution and High-precision Depth Image	共著	2018年1月	The International Workshop on Advanced Image Technology 2018	論文全体の概要:3次元スキャナで取得した点 群データには種々の制約によりデータが欠損し 穴が開いたようになる場合があるため、その穴を 近似的に塞ぐための一手法を提案した。 (当該論文のページ数:4頁) (当該論文の著者名: Yuta Muraki, Koji Nishio, <u>Takayuki Kanaya</u> , Kenichi Kobori) 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部 分抽出不可能。(共著)

令和 4年 6月 17日現在